

金丸重直 かつたまる 寫眞評論家。明治二十二年七月十日東京生れ、昭和
五十二年十一月七日歿（一九〇一七七）。ベルリン、ヘルムアーベル寫眞
學校卒。大正十三年日本初の商業寫眞工房金鈴社を鈴木八郎と設立。
昭和十一年全日本寫眞聯盟維持派員としてベルリン・オリンピックへ赴
く。十八年日本大學教授、のち學長、理事。

著書『寫眞道藝術論』（合著・水野正人編、昭和十六年十月五日日本大
學藝術科學園）、『カメラ愛好家のための十一年』（合著、昭和二十
年二月十五日中央公論社）、『新しい寫眞の考え方』（合著、昭和二十
一年八月五日毎日新聞社）等。